



第5号

「めぐみちゃんのまちづくりだより」

～ 市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです ～

西東京市では、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることにより、農地の保全を図っていくことを目的に、「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。

この一環として、西武新宿線田無駅南部エリアの植木生産地の特徴を活かした、市民と植木事業者の皆さんがふれあうイベント『第2回緑のアカデミー』を11月23日(金)、土方仲次さんの敷地をお借りして開催しました。



事業の
ねらい

田無駅南部エリアの特徴である苗木を活かした「緑のアカデミー」を開催し、市民が植木職人の技と緑にふれあいます。

事業の
効果

市民が市内の苗木生産地と技にふれ、理解を深めます。

① 開会

当日の天気は雨でしたが、約200名の市民の方が参加し、「田無緑化組合」の組合員20人の協力のもと、2回の入替え制で行いました。第1回目の開会には坂口市長、第2回目の開会には小林たつや市議会議長もかけつけてくれました。また、田無緑化組合の桜井組合長と緑のアカデミーの会場を提供して下さった土方仲次さんからも開会の挨拶をいただきました。



また、田無駅南部エリアには、苗木生産地であることをPRする案内看板「風景の窓 苗木のある西東京市」を多摩湖自転車道路沿いに2箇所、圃場にある苗木の特徴を紹介する「樹木プレート」を50箇所に設置しました。



② 匠の鋏さばき

剪定 パフォーマンス

田無緑化組合員の方に、会場内にあるモチノキを使って剪定の実演をしていただきました。2人の組合員の見事な鋏さばきに、参加者の皆さんは見入っていました。また、パフォーマンスに合わせて桜井組合長から剪定の時期やコツなどの解説をしていただきました。



パフォーマンスの後は、参加者の皆さんも各班で実際に剪定に挑戦しました。職人さんの技を直に教わり、日頃疑問に思っていた剪定のポイント等を学びました。



③ 樹木アレンジメント教室、グリーン・プロ講習会

樹木アレンジメント教室で使用した苗木と土は西東京市産のもので、このイベントのために、田無緑化組合の皆さんが厳選し準備をしました。第1回、第2回と使用する苗木の種類に違いはありますが、どれも見事な苗木で参加者の皆さんも大喜びです。

100%
西東京市産!

講師の朝田副組合長よりアレンジメントについての解説をしていただきました。アレンジメントは、まず主軸となる苗木をどこに、どの向きで配置するか考えることがポイントとなるそうです。立派な苗木を前に、主軸の配置に頭を悩ませる人、心のままに配置を決める人、家族や友達、講師の方々に相談しながら作業をする人など、ワイワイと楽しみながらアレンジメントをしました。



アレンジメントが完了し、「グリーン・プロ講習会」では、参加者の皆さんが講師の植木職人の方々へ苗木の生育方法などを積極的に質問していました。水やりや剪定の頻度、好ましい肥料、剪定を行う際のポイント、植え替えの時期など、どこの班でも沢山の質問が飛び交っていました。手入れ方法をしっかりメモをとる人や、剪定のやり方を写真に撮る人など、参加者の皆さんには講習会をふんだんに活用していただけたようです。



④ 閉会

田無緑化組合の中野副組合長より閉会の挨拶をいただき、第2回緑のアカデミーは無事に終了しました。最後に班毎の記念撮影を行い、参加者の皆さんの力作である樹木のアレンジメントをお持ち帰りいただきました。あいにくの天気の中の緑のアカデミーでしたが、参加者の方々には満足いただけたかと思います。

西東京市では、引き続き都市農業の魅力を、市民の皆さんが身近に感じることが出来る事業を行ってまいります。

西東京市では、貴重な農地を残していくために、「東京都農業・農地を活かしたまちづくり事業」を活用した、「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業」をすすめています。「緑のアカデミー」は本事業の支援を受けています。

発行：西東京市
生活文化スポーツ部
産業振興課

